

# 令和3年白老町議会人口減少に対応する政策研究会会議録

令和3年10月13日（水曜日）

開 会 午前10時00分

閉 会 午前11時35分

---

## ○会議に付した事件

協議事項

1. 政策提言に向けて（委員外議員を含めての全体会議）
- 

## ○出席委員（13名）

座 長	大 淵 紀 夫 君	副 座 長	佐 藤 雄 大 君
委 員	西 田 祐 子 君	委 員	氏 家 裕 治 君
委 員	久 保 一 美 君	委 員	長 谷 川 か お り 君
委 員	森 哲 也 君	委員外委員	広 地 紀 彰 君
委員外委員	前 田 博 之 君	委員外委員	吉 谷 一 孝 君
委員外委員	小 西 秀 延 君	委員外委員	及 川 保 君
議 長	松 田 謙 吾 君		

---

## ○欠席委員（1名）

委 員 貳 又 聖 規 君

---

## ○職務のため出席した事務局職員

事 務 局 長	本 間 力 君
主 査	八 木 橋 直 紀 君
主 任	神 綾 香 君

## 人口減少に対応する政策研究会（第26回）

### 【調査事項】

事務調査：人口減少に対応する政策研究「若者定住」について  
政策提言に向けて（全体討議）

### 次 第

1. 開 会 （大淵紀夫 座長） 10:00～
2. 資料説明 （佐藤雄大 副座長） 10:03～
3. 自由討議 （進行：大淵紀夫 座長） 10:29～

○及川議員 今回、全体会議は初めての開催であったが意図について伺いたい。今まで政策提言の際には本会議で報告し、最終的に提言書の提出は町長室で行ってきた。今後は町への提言に向けたまとめが行われると思うが、ぜひ本会議やそれに準ずる公の場面での提出が必要であると考えているが、見解を伺いたい。

○大淵座長 本政策研究会は新人議員が多い中で議論をしている。政策研究会としての提言ではなく、議会全体の提言であると議員全員から合意を得ることができれば、そういった形での政策提言としたいと考えている。政策提言の方法については、今後政策研究会の中で議論したい。

○小西議員 厚真町の地域おこし協力隊企業研修型や、提言内容（予定）に事業者とのマッチングの強化という項目がある。本町の協力隊の実態を見ると、行政と民間企業の間で産業の位置づけとして活動している隊員が多いと感じている。また、隊員希望者には将来的に目標とする業種があると感じている。このような部分に焦点を当てた議論は今までされてきたのか詳細を伺いたい。

○佐藤副座長 厚真町では、様々な協力隊の体制に加えて農業の担い手として町へ訪れる方もいて、農業支援者の定住率はおおよそ95%である。白老町としても、募集枠を広げた事業者とのマッチング強化は課題であると捉えているので、今後も議論し提言にも盛り込んでいきたいと考えている。

○小西議員 一次産業が協力隊の活用のきっかけになるのではないかと考えている。経営者の中には、跡取り問題や若者の力を借りて所得を増やしていかなければいけないという考えがある。

白老町では、サラブレッドも大きな魅力になると考えている。サラブレッドを育成したいと感じ、本州から訪れ就職する人もいるという。このような実態もあるので、幅広い分野での協力隊活動について議論いただきたい。

○佐藤副座長 隊員との懇談でもサラブレッドの取組として、小中学校の学習との連携について話が出ていた。また、厚真町では協力隊員がサラブレッドをインターネットで購入できる仕組みを事業として起こしている。

白老町でも、育成から引退馬としての余生を過せるような「ゆりかごから墓場まで」の支援体制が必要である。サラブレッドも大きな産業であると捉えているので、そういった視点も取り入れて協力隊の活用について考えていきたい。

○広地議員 平成30年度の住宅・土地統計調査によると、白老町では空き家の数が道内から見ても多く、別荘としての利用や売却用など活用用途が決まっている空き家を除いても1,000戸を超えている。住宅が売れないため、無償貸与や売却側が費用を出す「マイナス物件」という問題もある。

一方で、白老町の住宅は安い価格で売りに出せばすぐに買い手が見つかる。流通に乗れば然るべき活用がされるので、協力隊の受け皿にもなり得るし安い住宅を求めている人にとっても魅力となる可能性を秘めている。今後の中間報告に向けて空き家の深刻さと将来的価値に目を向けるべきだと考えるが見解を伺いたい。

○氏家委員 住宅問題については政策研究会の中でも多く議論されてきた。協力隊との懇談で、従来の考えではいけないと感じた部分が居住の考え方である。

協力隊として訪れたときに一番必要なのは居住環境である。協力隊が活用できる空き家を民間が整備できるような体制が構築された際には、町が支援する必要がある。

今回は地域おこし協力隊に絞った中間報告であったため、空き家問題とは分けて考えているが、提言の際には空き家対策についても含めなければいけないと捉えている。

○久保委員 知人からの相談で町内の住宅を調べる機会があったが、家賃が高いと感じた。空き家が流通に乗っていない実態もあることから、動きがあれば家賃の相場も変動するのではないかと感

じた。

○**広地議員** 協力隊の活用に焦点を当てた空き家対策であれば、もっと大胆な政策を考えていく必要があるのではないかと感じた。

○**佐藤副座長** 隊員との懇談では、仕事があるので白老町へ来るのではなく、自然などの魅力があるので来るのだという話が上がっていた。安い住宅とネット環境があれば来るが仕事があるだけでは来ないと話していた。

○**松田議長** 令和元年度の町民意識調査では「白老町が好き」「白老町に住みつづけたい」という質問に対して「どちらともいえない」という回答が3割程度あった。町の政策づくりが徹底されていないので、町民へ思いが届いていないのではないかと感じた。この「どちらともいえない」という回答者が動くと大きな数字になる。町が好きになる、住みつづけたいと思われる政策を行政へ議会から提言し、舵を取ることが大事である。

○**大淵座長** 政策立案はあくまで行政が主であるが、議会としても若者が住みたくなる町をつくるためにはどうしたらよいかについて議論していくべきである。

町外から訪れる人だけが住みたいと思う町づくりではなく、町民にとっても住みつづけたいと思う町づくりをしなければならない。そのためには多くの人から意見を聴き、多くの資料を調べて議論を深めたい。

○**前田議員** 政策研究会で実施したアンケートの内容は、町のアンケートとは方向性が違い、現実味があり非常に参考になった。政策研究会としてだけでなく、今後の議員活動にも役立つものである。

アンケート結果では教育に対してあまり重視されていないが、実際に若者と話した際、家庭を持って教育が充実していないと白老町で生活をつづけることに懸念を抱いているように感じた。このように、出てこない問題についても整理した中で町へ提言をしていかなければいけない。

協力隊には活動終了後も定住してもらい、家庭を築くことで白老町の人口のひとりとして貢献してもらいたいと考えているが、政策研究会でもこのような議論をしてきたのか伺いたい。

○**佐藤副座長** 最終的には定住してほしいという思いが一番にあるが、現在の隊員の感覚では、定住ではなく拠点のひとつという考え方がほとんどであった。完全定住は課題であると捉えていて、そのためにはどうしたらよいかの議論は今までもしている。しかし定住人口だけでなく関係人口にもよい点はあることから、二地域居住などの関係人口も一定程度担保しながら、定住人口も確保していくために議論していきたい。

理事者との懇談で、教育長も教育への意見や関心が低く、課題であると話していた。

○**氏家委員** 子供が小学校を卒業するまでは白老町で暮らし、卒業後は都市部の教育環境を求めて移ろうかという声を聞いている。

定住については今後も時間をかけて議論していくべき問題である。今回は地域おこし協力隊についての中間報告だが、総合的な人口減少対策については今後も議論し、提言していかなければいけないと考えている。

○**長谷川委員** 協力隊員が定住して家庭を持つ中で、子育て支援の充実も大事になってくる。また奨学金支援や卒業後の就職に向けた支援も必要になってくる。その時に応じてどの部分を支援して、町としてどこにターゲットを絞って政策提言していくか議論していく必要があると考えている。

○**前田議員** 今回の資料を素材にして、他の委員会活動や今後の議員活動に活かすことができると考えるが、資料の活用について見解を伺いたい。

○**佐藤副座長** 実際に一般質問等の参考としている委員もあり、今後は委員外の方にも活用していただければ数字の根拠も出ると考えている。

○**大淵座長** 今までも委員外議員へも主な資料は配付しており、公式の研究会でもあることから、議員活動の中で最大限に生かしていただきたい。

政策提言だけを目標に活動しているのではなく、議員全体の底上げに貢献できることは理想である。

#### 4. 閉会

～11:35

○**氏家委員** 町が人口減少問題についてどのように考え、計画だけではなく町の姿勢について立てることが大事であると感じた。本日の内容を持ち帰り、政策研究会内で改めて議論しなければいけない。

今後もこのような全体会議を通じて、議員全員で目標に向かっていくことが大事だと感じた。

○大淵座長 本日の討議で十分に議論、意見交換ができたと感じる。もう一度全体討議を予定していたが、次回は委員のみの会議にしてもよろしいか。(一同：よろしい)